

## ベトナムのテト

### テトの由来

一般的に、12月31日の大晦日が多くの子国にとって一年で最も大きな祝日であり、各地域で様々なイベントや祝い事が行われています。一方、ベトナム、中国、シンガポールなどのアジア諸国では、旧正月と呼ばれる旧暦の正月を祝う習慣があります。何千年もの間、最も大きく、最も重要な伝統行事であると同時に、1年のうちで最も重要な祝祭日とされています。

旧正月はベトナム語で「テト・グエン・ダン」、これを短縮して「テト」と呼ばれることが一般的です。これは、かつてベトナムの稲作農耕を基盤とする文明が、農業生産のために1年を24の時期に分けていたことに由来しています。その中でもテトは、新しい農作業サイクルの始まりであり、最も重要とされていました。「グエン」は「最初の」、「ダン」は「早朝」を意味し、「グエン・ダン」は「最初の早朝」と解釈されています。テトの行事は通常、大晦日の前後2日間ずつを含む7~10日間ほど行われています。

ベトナムの伝統的な信仰によると、テトは精神的、文化的に多くの意味を持つ特別な日です。ベトナム人にとって、天と地、神々、祖先に敬意を払う神聖な日であるだけでなく、生きている人と亡くなった人、遠方に住む家族、親戚など全ての人が再会する機会でもあります。また、誰もが一年の労働を終えて一息つき、成し遂げたこと、失ったことを振り返り、過去の失敗から学び、来年に向けて新たな希望を持って新年の計画を立てる時となっています。

また、ベトナムの文化でも十二支の概念があり、2022年は「寅年」です。寅は十二支の3番目に位置し、力、強さ、吉兆の象徴とされているため、2022年は力強さ、繁栄、躍進に満ちた年になると予想されています。また、人々は生まれた年の干支

通りのテト装飾 (サポートデスク撮影)



通りのテト装飾 (サポートデスク撮影)

に縁があり、それぞれの性格や運命に一定の影響を与えられていると考えられています。寅年生まれの人々は、親切で冒険好き、熱狂的で積極的な性格になるとされています。

### テトの習慣と祝い方

テト関連の行事は、一般的にテト前の準備期間とテト期間中の祝賀の2つの段階に分けられます。大晦日の1~2週間前から家族全員が参加して準備することが一般的ですが、生活様式が現代になった今日では伝統行事も変化しつつあります。

#### テト前

テトまでの数日間、買い物に行ったり、家の掃除や飾り付けをしたり、先祖を祀る料理の準備をしたりと、とても慌ただしい時期になります。

その昔、テト市では装飾品、菓子、衣服、花などを買い求める人々で大いに盛り上がりましたが、最近ではスーパーマーケットや、インターネットを利用する機会が増えており、テト市でかつてのような賑やかな光景はあまり見られなくなりました。

テトの前に行われるもう一つの重要な伝統行事は、家の大掃除です。テト前に家の掃除をすることで、古い年を整理し、古いものを取り除いて厄を払い、新年の良い運気を迎えることができると信じられています。現在、特に大都市圏に住む若者家庭では、自分で掃除をする時間がない、自分の時間を大切にしたい、やり残したことを片付けたいなどの理由から、家のリフォームや大掃除を業者に依頼することが多いようです。

大晦日はテトの前の最も重要なイベントとなります。旧暦12月30日(うるう年の場合は29日)の夜に家族全員が集まり食事をとり、旧年に別れを告げ、新年を迎える習慣があります。また、食事に家族が多く集まれば集まるほど一家に幸運が訪れると信じられています。



ハノイ Trieu Khanh 寺院 (サポートデスク撮影)

## テト期間中

ベトナムでは、新年にお寺に行くことが一般的です。新しい年の始まりに、自分や家族の健康、平和、幸運を祈るため、家族全員でお寺に行き、供物を燃やします。また、人々はお寺で心に平和と神聖な霊を見つけることができると信じています。

テトの期間中、人々は必ず親戚や親しい友人を訪ね、テトのお祝いを言い、年長者や子供には幸運をもたらす意味合いのある赤い封筒に入れたお年玉を渡し、相手の健康を祈ります。

正月三が日、伝統を重んじる家庭では、祖先の霊に敬意を表して彼らに一日三食のフルコースを供えます。しかし、この習慣は現在ではかなり簡略化されてきており、最近の傾向として、若い家庭を中心にテトの連休を利用して遠方に旅行し、疲れを癒す家庭も多いようです。忙しいテト行事を「こなす」よりも、1年間の激務を終えて休暇にあてる方が良く考えているようです。

ベトナムは多様な文化を持つ国として知られている通り、全国各地の地域によって異なる習慣があります。特にテトには、各地域の個性が現れた独特の伝統行事が数多く見られます。

## ○ 花

黄色や赤い花が幸運をもたらすと信じられており、テト期間中多くの花が飾られます。また、各地域によって欠かせない特別な花があります。例えば、桃の花は、北部の寒冷な気候でよく育つためピンクと赤の色調が活力と若さを表し、新年の始まりに幸運をもたらすと考えられています。一方、高温多湿の中部・南部では、黄色く咲き乱れるオクナの花が幸運・健康・富の象徴とされています。

## ○ フルーツ盛り合わせ

テト期間中、各家庭では、新しい年に幸運をもたらすとされているマムグークアと呼ばれるフルーツ盛り合わせを供え物として仏壇に飾ります。北部では、五行(金、木、水、火、土)をコンセプトに青バナナ、熟したポメロ(仏手柑)、オレンジ、柿、サボジラ、キンカン、マンゴー、ブドウ、リンゴ、梨などが一般的です。一方、南部では、バンレイシ、イチジク、ココナッツ、パパイヤ、マンゴーが一般的で、これらの果物の名前を並べると、「新年のお金が消費に十分で、充実した生活が送れるように」という意味になります。スイカ、パイナップル、タンジェリン、ドラゴンフルーツなど、他の果物も入れると彩りがよくなり、更なるご利益があると言われています。

## ○ 食事

北部のテト料理には、脂がのった豚肉、タマネギの漬物、バインチュン(もち米、豚肉、豆を使用した四角形のちまき)が欠かせません。テト期間中、北部の食卓には必ず春巻き、冷凍豚肉など寒い季節に楽しむ料理が添えられます。中部では、バインテット(丸棒状のバインチュン)がテトに欠かせない食べ物となっています。それ以外にも漬物、春巻き、肉の酢漬、糖蜜などを楽します。南部では、甘いバインテット、野菜のバインテットなど様々な種類のバインテットがあります。また、バインテットは一生の繁栄を意味すると考えられているため、豚の卵とじ、ゴーヤチャンプルーなど他の伝統料理と並んで、正月の食卓に欠かせない料理となっています。

## 新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルスの流行がベトナムを含む世界各国で始まってから2年以上が経過し、人々はウイルスと共存することに慣れ、通常の生活を取り戻しつつあります。しかし、生活のあらゆる場面において大きな変化を余儀なくされており、テトの習慣も例外ではありません。

例えば、新年の挨拶も対面ではなく、オンラインやソーシャルメディアを通して会うことに切り替えられています。同時に、オンラインお年玉やテトカードなど新たな需要に対応したオンラインサービスも開始されています。

観光業は、パンデミックの影響を大きく受けた産業の一つであり、外国人観光客だけでなく、国内の観光需要も、社会的隔離の実施、流行への不安感、所得の低下などにより、全体的に減少しています。人々は旅行の機会を失い、ウイルス拡散への懸念から、家にいることを好むようになりました。しかし、ワクチンの大規模接種、社会的隔離の緩和などで、業界によい兆しが表れています。観光局によると、9日間のテト期間中、35の地方を620万人の国内旅行者が訪れ、旅客輸送、接客、サービス業などもテト休暇の恩恵を受けています。

また、小売りでは、社会的隔離政策の中で従来型のショッピングが難しくなったため、Eコマースや宅配便が急成長しています。ベトナムの電子商取引での売上は2020年に118億米ドルに達し、成長率18%を記録しており、パンデミック後も活況が続くと予想されています。特に、テト休暇に向けたショッピング需要が例年以上に高まった結果、オンラインショッピングや配送サービスのプロバイダーは過負荷状態となりました。さらに、多くのレストランは、Now、GrabFood、Baemin、GoFoodなどのプラットフォームやデリバリーパートナーと提携し、販売形態を変化させています。規制緩和により、店内での飲食が再開されてもオンラインフードデリバリーには一貫して需要が残っています。

このように、このコロナ禍においても、新しい様式に合わせた様々な商品やサービスが登場しました。新型コロナウイルスの世界的な流行が終息しても、これらの変化は不可逆的なものとなると考えられます。

【執筆】 Tokyo SMEサポートデスク ベトナム受託事業者：B & Company株式会社

## 問合せ先

公益財団法人東京都中小企業振興公社

販路・海外展開支援課

TEL：+81-(0)3-5822-7241

E-mail：ttc@tokyo-kosha.or.jp

Website：https://www.tokyo-kosha.or.jp/TTC/

Tokyo SMEサポートデスク  
ベトナムへのご相談はこちらから

